

[平成20年度実証された技術]

[技術名] ペットボトルを利用した簡易なハエ駆除技術

[要約] ペットボトル（2L）に各種誘引液と殺虫剤を入れ10日間設置しハエの捕獲数を比較すると、5%黒砂糖液では1本当たり平均5,208頭のオオイエバエが誘引捕殺でき、リンゴジュースでは、同じく平均1,715頭のオオイエバエが誘引捕殺できる。

[キーワード] ハエ、ペットボトル、簡易駆除、殺虫剤、黒砂糖

[担当] 家畜保健衛生所

[連絡先] 電話 0776-54-5104

電子メール [katikuho@pref.fukui.lg.jp](mailto:katikuho@pref.fukui.lg.jp)

---

[背景・ねらい]

ハエの発生は畜産農家にとって大きな環境問題であり、その駆除は、「成虫対策」「幼虫対策」および「堆肥処理対策」が基本である。「成虫対策」における有効な手段は、殺虫剤の散布であるが、ハエを誘引捕殺できれば労力の低減につながる。そこで、畜産農家が簡易に利用できるペットボトルを用いてハエの簡易駆除法について検討した。

[技術の内容・特徴]

1. ペットボトル（2L）に誘引液として5%黒砂糖、リンゴジュースおよびバニラエッセンスの3種類と殺虫剤を入れ10日間設置しハエの捕獲数を比較する。
2. 誘引液が5%黒砂糖液では1本当たり平均5,208頭のオオイエバエが誘引捕殺でき、リンゴジュースでは、同じく平均1,715頭のオオイエバエが誘引捕殺できる。
3. ペットボトル（2L）によるハエの誘引・捕殺は、約10日間の長い持続効果が期待できる。

[技術の活用面・留意点]

1. ハエ駆除対策は「成虫対策」「幼虫対策」「堆肥処理対策」が基本であり、この技術は、大量発生する以前に利用する。
2. ハエの種類によっては効果に差が出るので、発生しているハエの種類を事前に確認しておく。

[具体的データ]

表1 A 養鶏農家におけるオオイエバエ誘引捕殺数

| 使用したハエ誘引液         | 設置数 | 捕殺総数(頭) | 平均捕殺数(頭/本) |
|-------------------|-----|---------|------------|
| 5%黒砂糖+殺虫剤         | 3本  | 15,625  | 5,208      |
| 100%リンゴジュース+殺虫剤   | 3本  | 5,145   | 1,715      |
| 0.25%バニラエッセンス+殺虫剤 | 3本  | 1,609   | 536        |
| 水+殺虫剤             | 3本  | 36      | 12         |

ペットボトルに4ヶ所の窓を設け400mlのハエ誘引液を入れ10日間設置した

表2 A 養鶏農家におけるヒメイエバエ誘引捕殺数

| 使用したハエ誘引液         | 設置数 | 捕殺総数(頭) | 平均捕殺数(頭/本) |
|-------------------|-----|---------|------------|
| 5%黒砂糖+殺虫剤         | 3本  | 552     | 184        |
| 100%リンゴジュース+殺虫剤   | 3本  | 598     | 199        |
| 0.25%バニラエッセンス+殺虫剤 | 3本  | 49      | 16         |
| 水+殺虫剤             | 3本  | 6       | 2          |

ペットボトルに4ヶ所の窓を設け400mlのハエ誘引液を入れ10日間設置した

表3 B 酪農家におけるイエバエ誘引捕殺数

| 使用したハエ誘引液         | 設置数 | 捕殺総数(頭) | 平均捕殺数(頭/本) |
|-------------------|-----|---------|------------|
| 5%黒砂糖+殺虫剤         | 5本  | 10      | 2          |
| 100%リンゴジュース+殺虫剤   | 5本  | 4       | 1          |
| 0.25%バニラエッセンス+殺虫剤 | 5本  | 4       | 1          |

ペットボトルに4ヶ所の窓を設け400mlのハエ誘引液を入れ10日間設置した